

# 安全運転の基本テキスト

30ページに理解度テストがございます。  
車両運転許可申請を出す場合は、  
100点の結果を添付してください。

**株式会社パソナグループ  
株式会社パソナ**

**東京アドミ部  
2021年1月28日**

## ~~目次~~

1. 車両は、常にきれいにメンテナンスする

2. 安全運転は、体調管理から

3. 乗車時は、周囲の安全確認のため、「後方一周」確認をする

4. 発進は、「ふんわりアクセル-スタート」する

5. 運転中は第一車線走行を守り、危険で非効率なわき道走行は止める

6. 車間距離は、2~3秒以上の「時間」でとる

7. 前の車に続いて停止するときは、前車との車間距離を十分にとる

8. 安全は、「完全停止」後、周囲をよく見ながら確認する

9. 駐車場では、止まって・見て・一呼吸おいてから、ゆっくり車を動かす

10. 運転中の携帯電話の使用は禁止

11. 夕暮れ~夜間の安全運転のポイント

12. 冬道の安全運転のポイント

13. スピード違反について

14. 飲酒運転は絶対にしない、させない

15. 事故発生時の対処の流れ

終わりに

理解度確認テスト

# 1. 車両は、常にきれいにメンテナンスする

車は営業遂行のパートナーです。車内外をきれいにしていますか？

①ブレーキランプやウィンカーランプが汚れていると、点灯を見落とされて追突される危険性があります。



②助手席や後部座席に物を乱雑に置くと、それが気になってわき見運転の原因になります



③後部座席に置いたものが、死角を作ってしまうことがあります。



荷物が死角を作る



車は常にきれいにしておき、車内を乱雑にしないことが大切です。また、助手席、後部座席に物を置かないようにしてください。また、窓から外を確認できるように、窓の前にはジャケットをかけない、物を置いてはいけません。

## 2. 安全運転は、体調管理から

**体調管理は非常に重要です。**

**乗車前に、自分の体調を確認しましょう。**

**疲れているときや風邪をひいて体調がすぐれないとき、薬を服用しているときなどに車を運転すると、自分が思っている以上に、注意力が散漫になるだけでなく判断力も弱まります。**

道路交通法第66条(過労運転等の禁止)

「何人も、過労、病気、薬物の影響その他の理由により、正常な運転ができないおそれがある状態で車両等を運転してはならない」

と定められています。

**体調不良などの自覚症状があったら、所属長と相談をして、運転を控えるようにしましょう。**

**体調が悪化した結果、突然意識を失ったり、自分自身では正常な判断が出来なくなったりすることにより、重大な事故を引き起こすおそれがあることを肝に銘じましょう。**

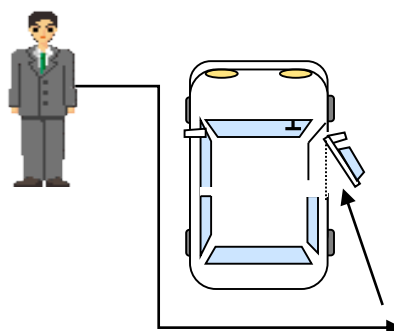
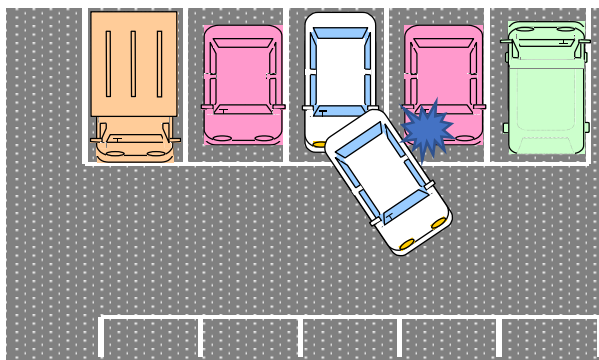


### 3. 乗車時は、周囲の安全確認のため、 「後方一周」確認をする

駐車場からの出発時に車両左側を当ててしまう自損事故が多発しております。修理代が数十万円かかるケースもあります。

運転席に乗車する前の、道路に出るまでの導線確認と、後方一周しての各種をチェックをしていますか？

1. 乗車前の段階で、道路に出るまでの導線をイメージして、導線上の車両左側に、障害物がないか確認します。特に運転席から見えづらい、腰より低いものがないか確認します。
2. 後方一周して運転席に乗ることで、発進前に周囲の安全確認が出来ます。当て逃げ被害のチェックや、コインパーキングの車止めが下りていることの確認が出来ます。

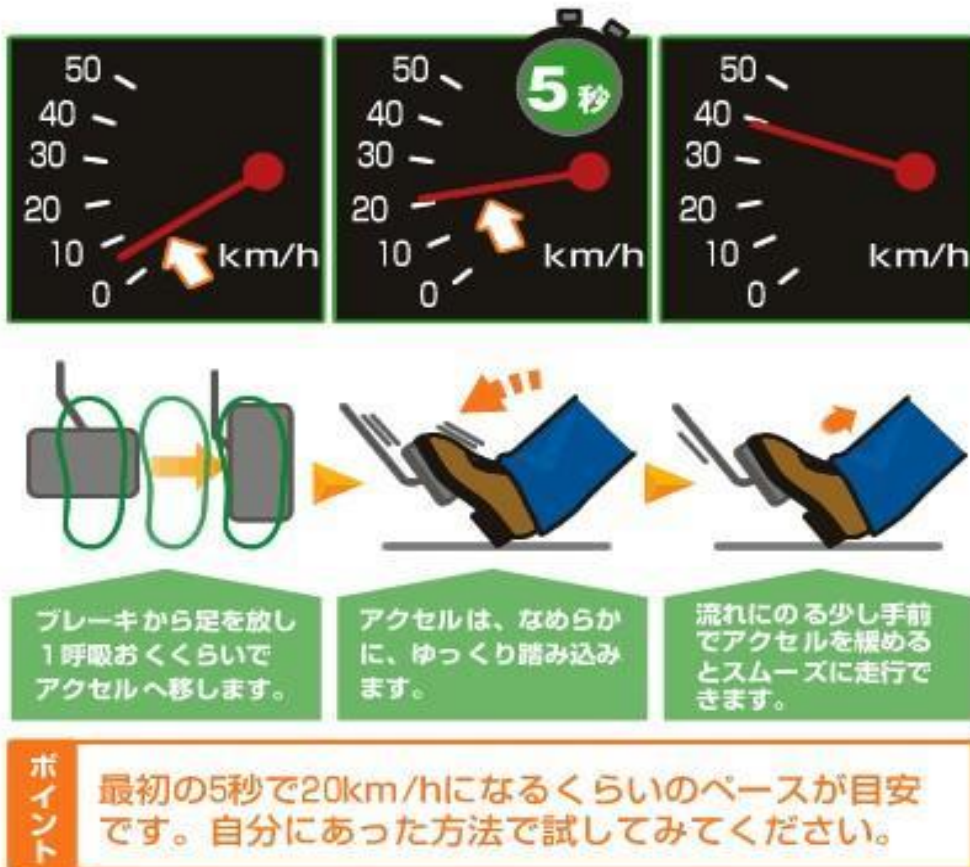


## 4. 発進は、「ふんわりアクセル-スタート」する

運転操作の中でも多い発進操作、そのとき無造作に急激にアクセルを踏んでいませんか？

発進、巡航、減速、停止の中で、発進が一番燃料を消費します。5秒間で時速20kmに持っていくアクセル操作を心がけましょう。エコドライブの「ふんわりアクセル-スタート」と言います。

急発進による衝突の防止につながり、また、ゆっくり発進することで燃費が約10%改善されることが見込まれています。



※坂道発進では車が後ろに下がる危険を頭に入れて、アクセルへ移してください。

## 5. 運転中は第一車線走行を守り、 危険で非効率なわき道走行は止める

急いでいるときや混んでいるとき、追い越しや追い抜きを  
したり、わき道に入りたいしていませんか？

無理な運転やいらついた運転は事故の原因となります。

急ぎ運転しても稼げる時間は僅かで、事故に遇うリスクのほうがはるかに高いといわれています。急ぎ運転をしないですむよう、ゆとりのある時間管理をして、運転中は極力車線変更せず、第一車線走行を中心とした、安全な「かめ運転」を心がけてください。

埼玉県警が9.4kmの距離を3つの運転方法で走行したときの所要時間の比較実験

3つの運転方法		日中	夕方
かめ運転	歩道側に近い第一車線での走行を中心とした慎重な運転	所要時間 13分～22分	所要時間 15分～21分
うさぎ運転	車線変更を繰り返しながら法定速度内の範囲内での急ぎ運転	かめ運転より、 0～5分先着	かめ運転より、 0～3分先着
ねずみ運転	住宅街の細かい街路などのわき道走行を中心とした運転	かめ運転より、 1～13分延着	かめ運転より、 3～10分延着

(川越市～狭山市9.4km/わき道12kmの場合)

万が一、約束の時間に遅れる時は、事前に相手に連絡を入れるようにしましょう。事前に連絡をすることで、気持ちに余裕が生まれ安全運転につながります。

## 6. 車間距離は、2～3秒以上の「時間」でとる

運転中、突発的に何が起きても危険を回避できるような、前車との車間距離をとっていますか？

【安全な車間距離の目安】

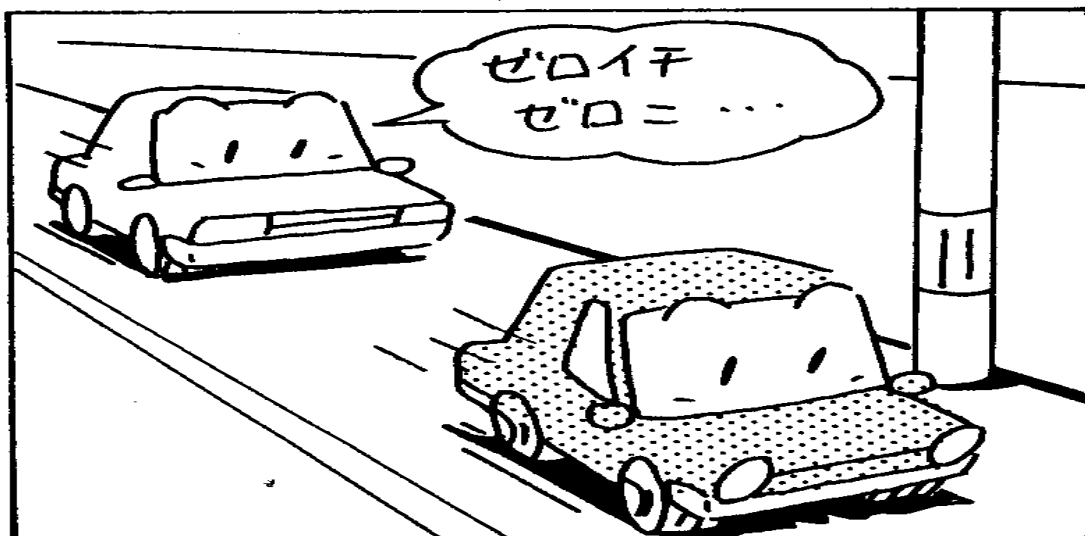
■時速30～60km・・・(速度から－15)mの車間距離が目安

例：時速40kmでは25mの車間距離が必要

■時速60km以上・・・速度と同じ車間距離が目安

車間距離の目測は難しいため、前車が電柱などの目標物を通過した後に「ゼロイチ」「ゼロニ」「ゼロサン」とそれぞれ1秒程度のリズムで数えて、**一般道では最低2～3秒の車間時間**を取るようにしましょう。

雨天、高速、夜間走行では停止距離が長くなります。  
一般道よりおおよそ2倍の車間時間間隔を取りましょう。



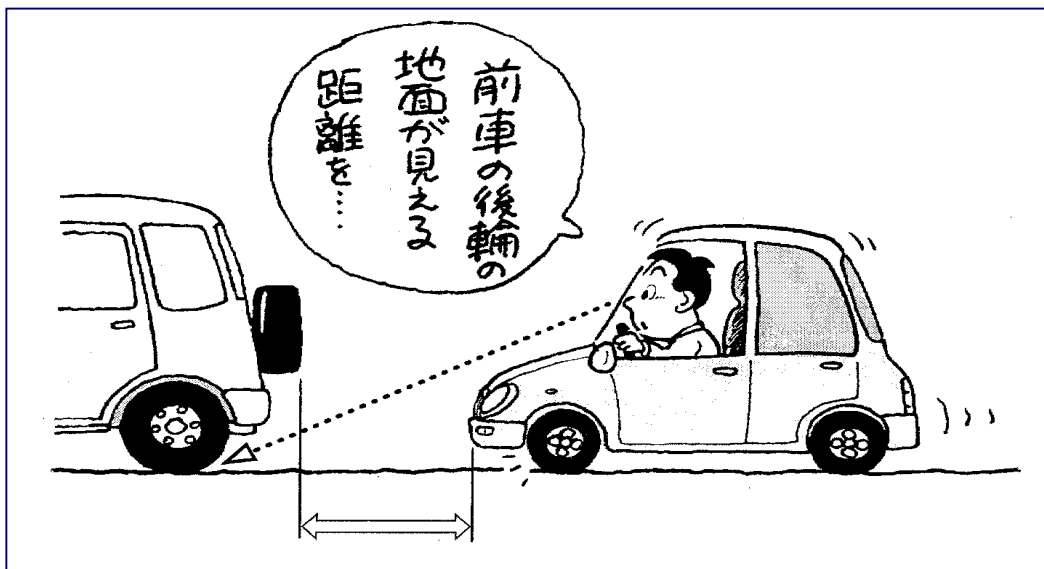
## 7. 前の車に続いて停止するときは、 前車との車間距離を十分にとる

前の車に続いて停止するとき、十分な車間距離を取っていますか？

前の車に続いて停止するとき、車間距離を十分に取みましょう。  
前車の後輪の地面が見える距離(軽自動車で2~3m、普通自動車で3~4mの車1台分の車間距離)を確保してください。

坂道などで前車が下がってきたときの接触防止や、緊急車両が通過するときに自車を方向変更するためでもあります。

停止したことで緊張から開放され、注意力が鈍ったり、通行人などをぼんやり見てしまうことから、停止中にブレーキが緩んで前車に追突する事故が起きています。AT車にはクリープ現象があり、ブレーキを外すと前進します。交差点付近での追突防止のため、停止中はしっかりブレーキペダルを踏んでおきましょう。

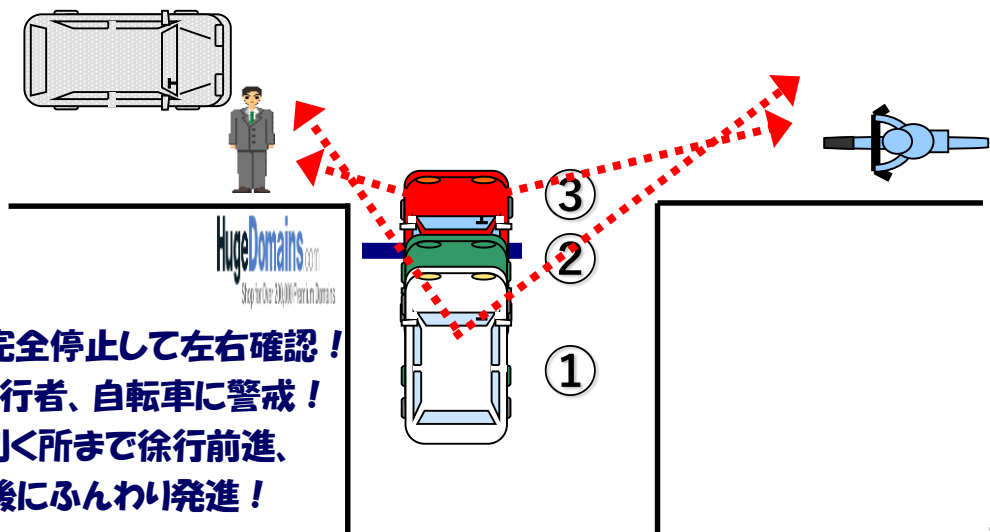


## 8. 安全は、「完全停止」後、 周囲をよく見ながら確認する

完全停止すべき場所で徐行しながら安全確認することは、危険を軽視した運転と同じです。完全停止すべき場所では、「減速して完全に止まって、右よし、左よし」で3秒の時間をかけて確認をしましょう。完全に停止した状態で安全確認を行うことが必要です。

### 完全停止すべき場所：

- ①一時停止の道路標識のある場所
- ②横断歩道に歩行者がいるとき
- ③保護しなければならない歩行者が通行しているとき  
・幼児や身体障害者、高齢者
- ④緊急自動車が接近しているとき  
・交差点では、交差点を避け道路の左側に寄って一時停止する。  
・交差点以外では、道路の左側に寄って進路をゆずる。
- ⑤踏み切りに入ろうとするとき  
・前の車が渡り切ってから踏み切りに入る。
- ⑥乗客が乗降中の路面電車の後方  
・乗客の乗り降りが終わるまで、路面電車の後方で一時停止する。



- ①停止線で完全停止して左右確認！
- ②まずは、歩行者、自転車に警戒！
- ③見通しが利く所まで徐行前進、安全確認後にふんわり発進！

## 9. 駐車場では、止まって・見て・一呼吸 おいてから、ゆっくり車を動かす

**企業の事故件数の30～40%をバック事故が占めており、バック事故の多くは駐車場で発生しています。**

駐車場内は、走行速度が遅く他車の大半が止まっているために、道路を走行するときほどの注意が払われずに緊張感が薄れて、軽微な接触事故が起こりやすいです。また、他車や駐車場の柱、仕切りが死角を作り、駐車スペースを探す車や出口に向かう車が不規則に錯綜することも、事故が起きやすい原因になっています。

### 【駐車場での事故防止策】

#### ① 駐車場内では…

- ・時速10km以下で徐行する
- ・バックするときは人の歩く速度(時速4km)で運転する
- ・絶えず他車や歩行者の動きに目を配る

#### ② 駐車するときには…

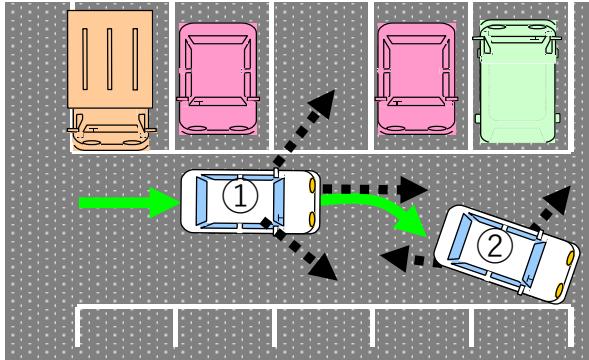
- ・バックで入庫して、前進で出庫する(指定のない場合)
- ・電柱、看板などの障害物の有無と位置を確認する
- ・駐車する手前で停止し、バックする軌跡をイメージする
- ・自分の目で直接後方を安全確認する
- ・切り返しをして再びバックするときは、必ず左右後方確認をする
- ・内輪差、外輪差を意識しましょう
- ・車止めにタイヤが接触する直前は、再徐行して停車に備えましょう。

※同乗者がいる場合は、誘導を頼むようにしましょう！

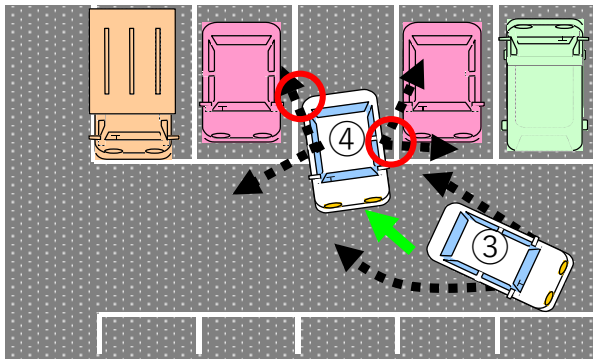
#### ③ 発進するときには…

- ・車に乗り込む前に、後方一周確認をする
- ・左右の駐車車両だけでなく、走行車両や歩行者の確認もする

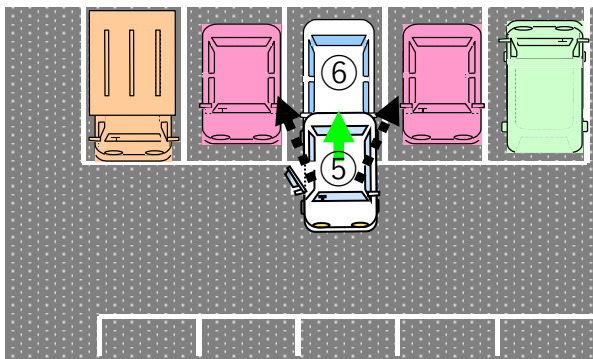
**駐車場では、止まって・見て・一呼吸おいてから  
ゆっくりと 車を動かすことを心がけましょう。**



- ①一時停止して、現況と周囲を確認する
- ②最適な場所に移動して、角度調整する



- ③バックギアを入れて、ふんわりバック
- ④低速後退、前後左右の繰り返し確認



- ⑤一時停止して、停車位置を最終確認
- ⑥まっすぐ駐車する

→ 車両の動き   
 ..... → 目線   
 ○ ぶつけるポイント

# 10. 運転中の携帯電話・スマホの使用は禁止

## 道路交通法改正（警察庁）

### 携帯電話使用等の罰則の強化（2019年12月までに施行）

（道路交通法第71条第5号の5の規定に違反した場合の罰則）

項目	現状	改正後
携帯電話使用等により交通の危険を生じた場合	3月以下の懲役または5万円以下の罰金	1年以下の懲役または30万円以下の罰金
携帯電話の使用等（保持）	5万円以下の罰金	6月以下の懲役または10万円以下の罰金

### 携帯電話使用等に関する違反点数・反則金の引上げ

項目	現状	改正後
携帯電話使用等により交通の危険を生じた場合	違反点数：2点 反則金：大型車 1万2千円 普通車 9千円 小特等 6千円	違反点数：6点（即免許停止） 非反則行為となり、全て罰則を適用
携帯電話の使用等（保持）	違反点数：1点 反則金：大型車 7千円 普通車 6千円 小特等 5千円	違反点数：3点 反則金：大型車 2万5千円 普通車 1万8千円 小特等 1万2千円

**携帯電話・スマホの使用はわき見運転を誘発しますので、運転中に使っただけ（運転中に携帯電話・スマホで会話する、メール送受信やカーナビ操作で画面を注視する）で罰せられます!!**

**運転中はドライブモードに設定し、携帯電話・スマホを使う時は必ず安全な場所に車を停車させてから使用してください。また、運転中のカーナビ操作は必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。**

**注意!**

**スマートフォンカーナビ機能は使用しないでください。カーナビが必要な場合は、アドミ担当者へ相談してください。**

## 11. 夕暮れ～夜間の安全運転のポイント

夕暮れは、空は明るいのに周りが暗くなるため、目が暗闇に慣れるまで時間がかかり、歩行者などが見えにくくなります。この「薄暮」と呼ばれる**16～18時の間がドライバーにとって一番危険な時間帯**とされています。

夜間は、交通量が減って速度を出しやすくなること、視界が悪くなって周囲の判断が難しくなることから、交通事故の頻度が高くなります。

夕暮れ～夜間の事故防止のために、**ヘッドライトの早めの点灯を心がけましょう。**

### ■夕暮れ～夜間は速度を落としましょう

時速60kmから停止するまで約44mかかりますが、ヘッドライトの照射範囲は下向きで約40m(上向きで約100m)です。

ヘッドライトで危険を発見してからブレーキをかけても間に合いません。夕暮れ～夜間はスピードを落として走行するようにしましょう。



### ■蒸発現象・幻惑に注意しましょう

蒸発現象とは、自車と対向車のヘッドライトの光が重なる場所に歩行者などがいた場合、運転席からその歩行者を確認できなくなること(蒸発したかのように見えなくなる)。

幻惑とは、対向車のヘッドライトが眩しいために周囲が見えにくくなったり、ヘッドライトを直視したために目がくらんでしまうこと。



## 12. 冬道の安全運転のポイント

通常の道路状況と異なる冬道や凍結路の走行では、より安全に走行するためのテクニックと心得が必要になってきます。

### 発生する危険

雪道・凍結路	降雪・吹雪
<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面が滑りやすく停止距離が長くなる</li> </ul> <p>※時速40km走行時の停止距離 凍結路面 約73m ⇔ 乾燥路面 約22m <b>停止距離は約3倍以上になります！</b></p> <p>特に交差点やその付近、橋の上やトンネルの中、濡れた路面の日陰部分、切り通しは凍結しやすいので注意。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視界が悪くなり、周囲の状況判断が難しくなる</li> <li>・センターラインや一時停止などの標識が見難くなる</li> <li>・路肩の雪が死角を作る</li> </ul>

### 安全走行テクニックと心得

雪道・凍結路	降雪・吹雪
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッドレスタイヤを必ず装着する</li> <li>・スピードを十分に落とす</li> <li>・車間距離は通常の3倍以上取る</li> <li>・急のつく運転はしない (急ハンドル・急ブレーキ・急発進・急加速)</li> <li>・ブレーキは早めに、ソフトに踏む</li> <li>・カーブの手前は十分減速する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドライトを点灯して、自車の位置を知らせるようにする</li> <li>・吹雪で視界が悪い時は、収まるまで一時停止または待機する</li> <li>・山間部や降雪の多い所への運転の時は タイヤチェーンも携帯するようにして、 必要なときは早めに装着する</li> </ul>

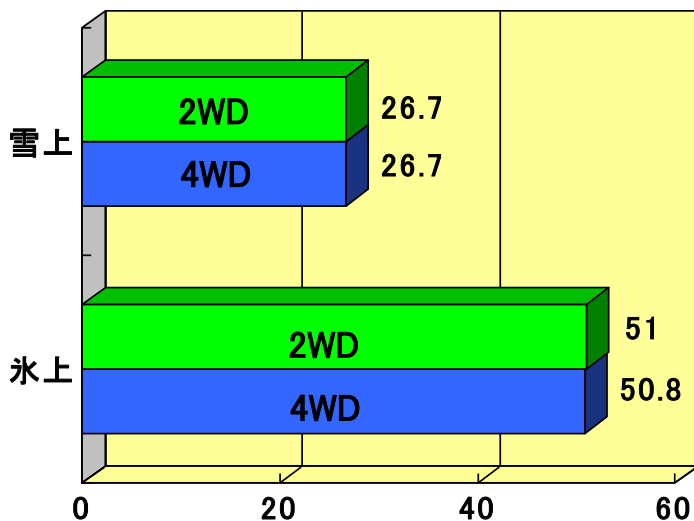
冬道運転の重要なポイントは、**スピードを十分に落とす**  
+ **車間距離は3倍以上取る** です。

スタッドレスタイヤが必要な場合は、アドミ担当者までご連絡ください。

# 過信は禁物

4WD車は、2WD車よりも発進や登坂で高性能を発揮しますが、**雪上・氷上での制動距離は殆ど変わりません。**

制動距離＝ドライバーがブレーキを掛けてから止まるまでの距離



4WD車と2WD車で、雪上・氷上での制動距離は変わらないという実験結果が出ています。

4WD車の高性能を過信せず、**スピードを十分に落とす**  
**+ 車間距離を3倍以上取る、運転を心がけてください。**

4WD車の制動性能は2WD車と基本的に同じですが、  
2WD車と比べて重量が重い分、下り坂では制動距離が  
伸びることがありますので、十分に注意をしてください。

## 13. スピード違反

スピード違反は、道路交通法により、  
**最高速度より30km/h以上超過した場合(高速道路は40km/h以上)は犯罪となり、刑罰が課せられます。**  
また、**30km/h未満超過した場合は、反則金が課せられます。**

### スピードと停止距離

自動車は走行時のスピードが速くなると、比例して停止距離が長くなります。そして、スピードを出しすぎると、とっさの反応にも対応しにくくなってしまい、事故につながる確立が高まります。

### 気持ちに余裕をもつ

次のアポイントまで時間がないなど、急いでいる時には精神的に余裕もなく、注意散漫になってしまいがちです。余裕を持ったスケジュールを計画することが大切です。もし次の予定に間に合わない場合も、無理にスピードを出して運転せず、先方に連絡をしたうえで、安全運転で次の場所に向かいましょう。

**周りの交通状況を考えながら速度調整し、心に余裕を持った運転を心がけましょう。**

## 14. 飲酒運転は絶対にしない、させない

飲酒運転は「故意」の行動であり、「うっかり」の行動ではありません。運転者一人ひとりが絶対に「しない」「させない」「見逃さない」との意識を持つことで、防ぐことが可能です。免許を持たない、車を運転しない方も、周りの方に飲酒運転をさせない取組が求められております。

**Q1** ビールを中ジョッキ3杯(1500ml)飲むと、酔いがさめるのはおよそ何時間後？

**解答：** およそ12時間後

純アルコール20gを「アルコールの1単位」と呼びます。1単位の目安は以下の通りで、このアルコールが体内で分解されるのにおよそ4時間かかります。アルコールを3単位飲めば、その後半日(12時間)、アルコールは抜けません。

■アルコールの1単位

ビール 500ml / 日本酒 1合(180ml) / ウイスキー ダブル1杯(60ml)  
ワイン 小グラス2杯(200ml) / 焼酎 コップ半分(100ml)

**Q2** 二日酔いでクルマを運転しても問題ない？

**解答：** 二日酔いで運転すると飲酒運転になります

どんなに飲んでも「一晩寝れば大丈夫」という人がいますが、体内にアルコールが残っていれば、飲酒運転となります。

**Q3** お酒を飲んでも、仮眠をとったり、お風呂に入れば酔いはさめる？

**解答：** 2~3時間の仮眠や入浴では、アルコールは抜けません

飲酒運転にこの程度なら安全、という領域はありません。血中アルコール濃度をゼロにしてから運転しないとイケないのです。

**Q4** 飲酒運転の死亡事故率は「飲酒なし」の約何倍？

**解答：** 飲酒運転の死亡事故率は「飲酒なし」の約8倍

■飲酒による運転への影響

- ・気が大きくなり速度超過など危険な運転をする。
- ・危険を察知し、ブレーキを踏むまでの時間が長くなる
- ・車間距離の判断を誤る

# 知っておきましょう。飲酒運転に関する法律

## 刑法

	自動車運転過失致死傷罪	危険運転致死傷罪
飲酒運転で事故を起こし、人を負傷させた場合	7年以下の懲役もしくは禁固刑又は100万円以下の罰金	15年以下の懲役
飲酒運転で事故を起こし、人を死亡させた場合		1年以上20年以下の懲役

## 道路交通法(運転者への罰則)

酒酔い運転	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
酒気帯び運転	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
救護義務違反(ひき逃げ)	10年以下の懲役又は100万円以下の罰金
飲酒検査拒否	3ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金

## 飲酒運転の行政処分

		違反点	処分内容	欠格期間
	<b>酒酔い</b> 運転	35点	免許取消	3年
<b>酒気帯び</b> 運転	呼気1L中のアルコール0.25mg以上	25点	免許取消	2年
	呼気1L中のアルコール0.15mg以上0.25mg未満	13点	免許停止	90日

## 運転者以外の方でも関わった方は罰則があります

※教唆犯の場合は運転者本人に同じ

罰則対象者	運転者の状況	罰則
酒気を帯びていて車両等を運転することとなるおそれがある者に対し、車両等を提供した者	酒酔い運転	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
	酒気帯び運転	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
車両等を運転することとなるおそれがある者に対し、酒類等を提供し、又は飲酒をすすめた者	酒酔い運転	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
	酒気帯び運転	2年以下の懲役又は30万円以下の罰金
運転者が酒気を帯びていることを知りながら、自己を運送することを要求し、又は依頼して車両に同乗した者	酒酔い運転	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
	酒気帯び運転	2年以下の懲役又は30万円以下の罰金

# 交通事故(違反)事故発生時の対処の流れ

万が一、起こしてしまったら、下記に従って対処してください

**1:ケガ人の救護をする(救急車は119番)**

**2:事故車を安全な場所へ移動させる**

**3:警察へ通報する(110番)**

**4:相手を確認する**

**5:事故状況と目撃者の確認をする**

**6:保険会社へ連絡する。**

社有車:**0120-256-110**:損保ジャパン日本興亜事故受付センター

**7:社内(上長、およびアドミ担当者)へ連絡する。**

**(8)重大事故報告(人身事故の場合)**

報告者所属部署の本部長・部長がリスクマネジメントの観点から「重大事故」と判断した場合必要。

**9:交通事故(違反)報告書を提出する。**

事故後速やかに(修理見積添付が必要です)

その他「注意事項」もご確認ください<sup>20</sup>

## 1:ケガ人の救護をする

救急車の手配や近くの病院に運ぶなど、状況によって適切な方法を取ってください。

緊急通報用電話番号: 119番

軽くみえる怪我でも、時間が経過してから急激に悪化する可能性もあります。事故にあったら、面倒がらずに**必ず病院で診察を受けてください。**

## 2:事故車を安全な場所へ移動させる

路肩・駐車帯に速やかに移動して、**三角停止板を設置したり、発炎筒を使用**して、後続車に事故が起こったことを知らせて下さい。

事故車をそのままにすると、二次災害につながります。

### 3: 警察へ通報する

**どんな小さな事故でも、必ず警察へ事故届を出してください。**

**損害保険を使用するには、小さな事故でも警察への事故報告が必要です。警察通報用電話番号: 110番**

- ・事故届には、人身と物損の2種類があります。  
(ケガ人がいれば人身届けとなります)
- ・相手が届出を拒否する場合は、一人でも届出を出してください。
- ・警察にはあいまいなことは言わず、主張すべき点ははっきりと主張してください

### 4: 相手を確認する

**加害事故・被害事故にかかわらず、相手の氏名・連絡先(会社及び自宅)などを確認してください。**

**また、相手車両の車両番号・車種・修理工場もメモしておきましょう。**

**人身事故の場合は、病院名・病院の電話番号も控えておきましょう。**

## 5: 事故状況と目撃者の確認をする

事故の状況は、過失を決定する上で重要な決め手になりますので、**正確な事故現場の状況(信号・標識・道路の幅)**などをメモしてください。事故現場や車の損傷状況を携帯電話で写真を撮ってください。

また、目撃者がいたら、氏名・連絡先などを聞いて、協力を求めてください。

## 6: 保険会社へ連絡する

社有車： 0120-256-110: 損保ジャパン日本興亜事故受付センター  
※車両ナンバーを伝えてください。  
レンタカー： レンタカーの指定会社

**些細な事故でも、必ず報告をお願いします**

## 7. 社内(上長、アドミ担当者)へ連絡する

### 1) 所属長 (所属担当部長 ・ 所属担当役員)

※まずは所属ラインの上長へ連絡しましょう

### 2) アドミ担当者

※ cc:所属長、部長、担当役員を含めてください。

#### ■淡路以外の車両での事故

①パソナグループ車両: [pg-syaryou@pasonagroup.co.jp](mailto:pg-syaryou@pasonagroup.co.jp)

②パソナ車両: [pg-syaryou@pasonagroup.co.jp](mailto:pg-syaryou@pasonagroup.co.jp)

#### ■淡路車両 での事故 (①へ報告)

① リスクマネジメント担当: **050-3821-8899**

お問い合わせ先: 淡路車両\_担当 [awajisyaryou@pasonagroup.co.jp](mailto:awajisyaryou@pasonagroup.co.jp)

#### 【必須報告事項】

メール件名: 【パソナグループ車両事故報告】所属/氏名/事故日

所属: ○○○/氏名: ×××/連絡先携帯番号△△△

1. 事故日:
2. 事故内容: 対人or自損事故
3. 車体番号 (もしくはレンタカーの場合はレンタカー会社と車種)
4. 警察への報告 (連絡済み/保険会社から連絡済み)
5. 保険会社への報告日: ●月●日 (●時●分)
6. 通院の有無  
社員: 無or有 (病院名: )  
相手: 無or有 (病院名: )  
※原則付き添ってください。

#### 7. 事故の概要

事後現場: ●●県●●市●●●●

参照: Discovery

[https://pasona.sharepoint.com/sites/discovery\\_grp/kanri\\_soumu/SKAHAPI1/%E8%BB%8A%E4%B8%A1%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.aspx?csf=1&web=1&e=04iMLI&cid=1d2dd6cd-ee2c-4f14-b539-ac6e3fffe23a](https://pasona.sharepoint.com/sites/discovery_grp/kanri_soumu/SKAHAPI1/%E8%BB%8A%E4%B8%A1%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.aspx?csf=1&web=1&e=04iMLI&cid=1d2dd6cd-ee2c-4f14-b539-ac6e3fffe23a)

## (8). 重大事故報告(人身事故)

所属長は報告を受け次第、速やかに本部長・部長へ報告してください。

なお、本部長・部長がリスクマネジメントの観点から「重大事故」判断した場合は、担当役員から報告を上げる必要があります。

### ■ 事故発生後の対応

- ① 本人より所属長へ報告（電話）
- ② 所属長より本部長・部長へ報告
- ③ 本部長・部長にて「重大事故」と判断した場合は担当役員へ報告
- ④ 担当役員より  
「cp@pasonagroup.co.jp（重大事故専用メール）」へ報告

### ■ 報告内容

概要、日時、場所、関係者、状況、措置、見通し  
本件に関する窓口（携帯番号・メールアドレス）

## 9. 交通事故(違反)報告書を提出する

### 2. 詳細報告（状況判明次第速やかに）

	申請者	第二報 (修理が発生する場合は、修理見積取得後速やかに)
1	パソナグループ、パソナ所属・配属者	SQUAREワークフロー 06-024_交通事故(違反)報告書
2	パソナ契約社員Ⅱ	紙による申請
3	グループ会社各社	各社指定のフォーム

事故・違反発生後、速やかに報告書を提出してください。

# 車両事故(違反) 発生時 社内報告フロー

緊急報(第一報)

詳細報告

所属長

人身事故の場合

本部長・部長  
(重大事故かどうか判断)

「重大事故」判断

担当役員

cp@pasonagroup.co.jp

a) パソナ車両(レック-等含む)

pasona-syaryou@pasonagroup.co.jp

b) パソナグループ車両(レック-等含む)

※淡路車配置車両以外

pg-syaryou@pasonagroup.co.jp

c) 淡路車両(トヨタシェアカー含む)

050-3821-8899

「交通事故(違反) 報告書」の提出  
(速やかに提出してください。※修理発生は見積添付)

## 言ってはいけない例

全部こちらでみます



こちらの保険で  
すべてやります

こちら側で責任をもって  
対応させていただきます

そちらが一時停止をしないか  
らぶつかったのです。責任は  
あなたにありますよ。

あわてて示談すると、法外な賠償金をとられることがあります！  
このように言いましょう。

**私は自動車保険に加入しているので、保険会社に  
連絡をして、保険会社の担当者から連絡をさせて  
いただきます**

たとえ100%の過失と思っても、自分で過失割合を判断  
しないで下さい。過失割合は、保険会社が判断します。

## 注意:保険会社との対応について

当社で契約している保険会社や、事故の相手の保険会社から連絡がはいる場合がありますが、何か判断や、承諾が必要な場合は、その場で判断し回答せず、必ずアドミ担当者に確認のうえ、対応するようにしてください。  
思わぬトラブルとなりますので、ご注意ください。

## 注意:道義的な処置を取りましょう

人身事故の場合、過失割合とは別の対応として、相手の身体やケガを気遣う道義的な処理を講じてください。  
示談交渉をスムーズに行ううえでも必要になります。

## 交通事故の影響

交通事故が発生すれば、

**企業側の責任(使用者責任)**

**運転者の責任(当事者責任)**

が発生します。

運転している皆さんの当事者責任のみならず、会社に対し多大なリスクが発生するかも知れない事を十分に自覚して、くれぐれも交通事故を起こさないように、常に安全運転を心がけてください。

# 終わりに

企業人として交通安全を心がけ、事故防止に努めることは  
当たり前の事です。この事が出来ない限り、企業人として  
車を運転する資格がないと言っても過言ではないでしょう。

人を傷つけ、損害を与える事は絶対に避けなければいけません。  
この資料を参考にして、事故防止に取り組んで下さい。

この資料は、当たり前の事を記入してあります。当たり前の事  
を当たり前にできないと、残念ながら事故が起きます。

この当たり前の事を確実に実行する事により、当社の事故削減  
を実現できるのです。

運転者は「**会社の顔**」であり、

動く「**会社の広告**」である。

安全運転は

「**当たり前のことを確実に実行する**」

ことである。

## 安全運転理解度確認テスト

社員コード	氏名	所属会社：(株)〇〇	所属部署	実施日
			点数	所属長承認印

以下説明の中で、誤っているものを選択してください。

- 助手席や後部座席に荷物を煩雑に置くと、置いたものが気になり、わき見運転の原因になるので、整頓を心がける。
- ブレーキランプやウインカーランプが汚れていると、点灯をみおとされて追突される危険性があるので、乗車前の車両（ブレーキランプ・ウインカーランプなど）、車体をチェックする必要がある。
- ブレーキランプが片方つかなくても運転に支障がなければそのまま乗ってよい。
- 「ふんわり発信」5秒間で時速20Kmに持っていきアクセル操作を心がけることで、燃費の改善が約10%見込まれる。
- 発進、徐行、減速、停止の中で、一番燃料を消費するのは、停止である。
- 一時停止とは、「完全に停車する」ことである。  
前の車に続いて停止するとき、前の車の後輪の地面が見える距離（車1台分の車間距離）をとる。
- 停車後、平坦道であれば、ブレーキを外しても良い。
- 信号のない横断歩道では「車両優先」で運転してもよい。
- 企業の事故件数の30~40%は、バック事故が占めており、その多くは駐車場で発生している。
- 車間距離は「2~3秒以上」の「時間間隔」でとる。
- 雨天、高速、夜間走行では、停車までに要する時間が長くなるので、一般道でとる車間距離の半分の間隔でよい。
- 運転中にカーナビを操作したり、携帯電話やスマホを利用すると、わき見運転を誘発し、事故のリスクが上がる。
- 運転中携帯電話はドライブモードに設定し、使う時は、安全な場所に車を停車させてから使用する。
- ハンズフリーにしていれば、運転中電話をしても絶対に罰せられない。
- 飲酒運転は「故意」の行動であり、運転者一人一人が「絶対にしない」と意識する必要がある。
- 飲酒後、仮眠や入浴すれば、運転してもよい。
- 飲酒した場合、二日酔いがある場合は、運転しない、させない。
- 軽微な事故であれば警察に連絡しなくても良い。また勝手に示談交渉をしてもよい。

回答	
<input type="radio"/>	助手席や後部座席に荷物を煩雑に置くと置いたものが気になり、わき見運転の原因になるので、整頓を心がける。
<input type="radio"/>	ブレーキランプやウインカーランプが汚れていると、点灯をみおとされて追突される危険性があるので、乗車前の車両（ブレーキランプ・ウインカーランプなど）、車体をチェックする必要がある。
<input checked="" type="radio"/>	ブレーキランプが片方つかなくても運転に支障がなければそのまま乗ってよい。 →道路交通法第62条上「整備不良」となり、その箇所に応じて違反切符が切られることがあります。 必ず乗車前に確認し、不備がある場合は乗車を中止しましょう。
<input type="radio"/>	「ふんわり発信」5秒間で時速20Kmに持っていきアクセル操作を心がけることで、燃費の改善が約10%見込まれる。
<input checked="" type="radio"/>	発進、徐行、減速、停止の中で、一番燃料を消費するのは、停止である。 →発進が一番消費します。5秒間で時速20kmに持っていきアクセル操作を心がけましょう
<input type="radio"/>	一時停止とは、「完全に停車する」ことである。 前の車に続いて停止するとき、前の車の後輪の地面が見える距離（車1台分の車間距離）をとる。
<input checked="" type="radio"/>	停車後、平坦道であれば、ブレーキを外しても良い。 →車が勝手に動きだす「自然発車」による事故が増加しています。普段使い慣れた場所であっても、平坦な道ではない可能性もあり、サイドブレーキなどパーキング用ブレーキの重要性を改めて認識し、適切なブレーキ操作を行ってください。
<input checked="" type="radio"/>	信号のない横断歩道では「車両優先」で運転してもよい。 →信号のない横断歩道は「歩行者ファースト」です。必ず道を譲るために一時停止しましょう。
<input type="radio"/>	企業の事故件数の30~40%は、バック事故が占めており、その多くは駐車場で発生している。
<input type="radio"/>	車間距離は「2~3秒以上」の「時間間隔」でとる。
<input checked="" type="radio"/>	雨天、高速、夜間走行では、停車までに要する時間が長くなるので、一般道でとる車間距離の半分の間隔でよい。 →雨天、高速、夜間走行では、停車までに要する時間が長くなるので、一般道の2倍の間隔をとりましょう。
<input type="radio"/>	運転中にカーナビを操作したり、携帯電話やスマホを利用すると、わき見運転を誘発し、事故のリスクが上がる。 Chat
<input type="radio"/>	運転中携帯電話はドライブモードに設定し、使う時は、安全な場所に車を停車させてから使用する。
<input checked="" type="radio"/>	ハンズフリーにしていれば、運転中電話をしても絶対に罰せられない。 →地域の条例により、ハンズフリーや赤信号停止中の利用も違反とみなされることがあります。 運転中は「運転に集中」してください。
<input type="radio"/>	飲酒運転は「故意」の行動であり、運転者一人一人が「絶対にしない」と意識する必要がある。
<input checked="" type="radio"/>	飲酒後、仮眠や入浴すれば、運転してもよい。 →2~3時間の仮眠や入浴では、アルコールは抜けません。 飲酒運転をすると「気が大きくなり速度超過など危険な運転をする」「危険を察知し、ブレーキを踏むまでの時間が長くなる」「車間距離の判断を誤る」といった事故にを起しやすいう行動につながります。 絶対にしないでください。
<input type="radio"/>	飲酒した場合、二日酔いがある場合は、運転しない、させない。
<input checked="" type="radio"/>	警備な事故であれば警察に連絡しなくても良い。また勝手に示談交渉をしてもよい。 →些細な事故でも必ず連絡をして下さい。